

うれしの

Ureshino city council

～知ろう議会のダイレクトニュース 一歩先へ～

市議会だより

No.68

令和5年1月26日発行



- 補正予算..... P2
- 予算のなかみ..... P3～4
- 人事、賛否表、陳情..... P5
- 15議員が登壇、一般質問..... P6～15
- 委員会報告、ときの人..... P16～20



▲新春 願いをこめて

発行：嬉野市議会 編集：議会広報編集特別委員会

〒 849-1492 佐賀県嬉野市塩田町大字馬場下甲 1769 番地

TEL : 0954-66-9127 FAX : 0954-66-2887



▲慎重審議する議会

今議会に提案された一般会計の補正予算の歳入の主なものは、令和3年度の繰越金8億7355万円や前年度の各種精算金などで歳入合計が10億5933万円となってい

ます。また歳出の主なものは、旧市体育館等解体に6430万円、肥料価格の高騰に対する農家への支援策として肥料価格高騰対策事業に2560万円、移住促進応援事業に1065万円、介護施設等で働く職員の支援策として介護施設職員就職支援事業に300万円、令和2年の大雨により、通行止めが続いている下吉田地区の市道永尾線地すべり災害復旧事業に1億4800万円などが予算化されました。

これにより、令和4年度の一般会計予算の総額は歳入、歳出それぞれ205億6060万円となります。

議会としては、これら予算の速やかで確実な執行をチェックしていくこととなります。

第4回 定例会

一般会計補正予算額は 10億5933万円

会計名		補正額	補正後の総額
一般会計		10億5,933万円	205億6,060万円
一般会計(10/7専決処分)		1億3,466万円	195億127万円
特別会計	国民健康保険	1億2,540万円	36億9,985万円
	後期高齢者医療	246万円	4億252万円
	駅周辺土地区画	0円	2億1,965万円
企業会計	下水道事業	収益的収入	7億9,261万円
		収益的支出	7億8,537万円
		資本的収入	4億1,171万円
		資本的支出	5億9,148万円

利用料金の一部を改正へ

嬉野市営公衆浴場条例の一部を改正する条例

今回の条例改正は、市営公衆浴場（シーボルトの湯）の開館時間と利用料金を改正するためのものです。

改正の内容としては、浴場の開館時間は、午前6時から午後11時までが午後10時までになります。

また、料金については、別表のとおり上程され、議案質疑を経て原案どおり可決されました。

問 開館時間の短縮は利用者減になるのではないか。

答 午後10時過ぎの利用者が少なかったためと経費削減のためである。

問 パスポート料金の値上げ率が大きいがなぜか。

答 シーボルトの湯の老朽化による修繕費の増大及びコロナ禍による利用者減の経営悪化を防ぐため、パスポート利用のお客様に負担をお願いした。

嬉野市公衆浴場料金改定

単位：円

種別	単位	区分	改定前		改定後	
大浴場一般券	入場1回	70歳以上	一般	320	340	
			障がい者等	320	340	
		子ども（小学生）	一般	210	220	
			障がい者等	110	110	
大浴場団体券（10人以上）	入場1回	大人（中学生以上）	350	370		
		子ども（小学生）	170	180		
大浴場回数券	入場12回	大人（中学生以上）	350	370		
		子ども（小学生）	170	180		
大浴場バスポート	年間入場	大人（中学生以上）	37,000	50,000		
		子ども（小学生）	18,500	25,000		
	半年間入場	大人（中学生以上）	18,900	26,000		
		子ども（小学生）	9,450	13,000		
	3か月入場	大人（中学生以上）	—	14,000		
		子ども（小学生）	—	7,000		
貸切湯	50分		2,100	2,500		
			又は大人券5枚	又は大人券5枚		
休憩室	使用1回	大人（中学生以上）	110	110		
		子ども（小学生）	60	60		



▲利用者増が期待されるシーボルトの湯

▲改定される料金表

解体後の利活用は

旧市体育館等解体事業費 6430万円

嬉野市体育館は昭和45年に当時としては珍しい湖上体育館として建設され、旧社会体育館は昭和39年に旧嬉野中学校体育館として建設され、どちらも長年にわたり、市民に親しみ愛されながら利用されてきました。

新しい嬉野市中央体育館（ユースポ）が完成してから、SAGA20令和5年度までの継続事業で、解体工事の予算総額は約1億6000万円



▲解体予定の2つの旧体育館

が予定されています。

問 財源はどのようになる。

答 今回の補正は全て一般財源である。

問 工事は、いつ頃からの予定か。

答 来年の1月末から2月頃に工事の発注を予定している。

問 2カ所同時におこなうのか。

答 発注は別々ではない、解体工事は後の利用も考慮し、旧市体育館から先におこないたい。

農業者の手助けへ

肥料価格高騰対策事業 2560万円



▲価格高騰の化成肥料

世界的な穀物需要の増加やエネルギー価格の上昇に加え、ロシアによるウクライナ侵略等の影響により、化学肥料原料の国際価格が大幅に上昇し、肥料価格が急騰しています。これを受け、前年度から増加した肥料費に対して国と県で併せて70%が補填されます。

十分とは言えず、市としても15%以内で上乗せをおこない、農業者の一層の負担軽減を図るための事業です。

その財源として、地方創生臨時交付金から2300万円を活用し、残り260万円が一般財源で補われます。

この事業は、国の肥料価格高騰対策事業に準じておこなわれるもので、令和4年6月から令和5年5月までに購入した肥料が対象となります。

対象の農業者は5人以上の農業者グループ単位、農協、営農部会、肥料販売業者などとなっております。化学肥料の低減を実現するため、有機質資材の利用など取組メニューの中から2つ以上を実施しなければなりません。

この事業は、令和2年7月上旬の豪雨により発生した地すべりの影響で、現在も全面通行止めになっている市道永尾線（下吉田地区）の災害復旧事業です。

市道永尾線は河川沿いに護岸崩落と周辺に複数の亀裂が確認されたため、広い範囲で地盤の動きを観察する必要があり、その間安全性の確保を第一と考え現在も全面通行止めとなっています。

復旧工事は、本年度から令和6年度までの3年にまたがる継続事業で、予算総額は4億円が予定されています。

ようやく着手へ

市道永尾線地すべり災害復旧事業 1億4800万円



▲広範囲にわたる地すべり現場

この事業費の内訳は、令和4年度1億4800万円、令和5年度1億2600万円、令和6年度1億2600万円である。

問 事業計画はどのようになっているか。

答 令和4年度に入札方法の検討などをおこない、令和5年度は仮設工、抑止杭工等、令和6年度に集水井工、横ボーリング工、護岸復旧工等の工事をこなう予定である。

問 市民への説明会などはおこなうのか。

答 事業入札で業者が確定次第、事業工程なども含めて説明会をおこなう。

追加議案 (人事)

嬉野市教育委員会委員
の任命に同意

荒武治美 氏

嬉野町温泉四区

教育委員とは

教育委員の職務は、教育行政の基本方針や重要事項を審議し、決定することです。その決定を受け、教育長が事務局を指揮監督して事務をつかさどります。

次ページは 一般質問

15議員が質問

諸井 義人 議員 (P6)

芦塚 典子 議員 (P6)

川内 聖二 議員 (P7)

森田 明彦 議員 (P8)

古川 英子 議員 (P8)

諸上 栄大 議員 (P9)

水山 洋輔 議員 (P10)

山口 卓也 議員 (P10)

山口 虎太郎 議員 (P11)

増田 朝子 議員 (P12)

大串 友則 議員 (P12)

田中 政司 議員 (P13)

阿部 愛子 議員 (P14)

梶原 睦也 議員 (P14)

宮崎 良平 議員 (P15)

今回より二次元
バーコードで映像
をご覧ください。

令和4年第4回定例会議案賛否表(主なもの)

○は賛成 ●は反対
議長は採決に加わりません

議案番号	議案名	番号	議員														
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
議案第60号	専決処分(第12号)の承認を求めることについて	承認	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第61号	嬉野市個人情報保護法施行条例について	可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第62号	嬉野市個人情報保護審査会条例について	可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第63号	嬉野市職員の定年の引き上げ等に伴う関係条例の整備に関する条例について	可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第64号	嬉野市職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例について	可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第70号	嬉野市営浄化槽条例の一部を改正する条例について	可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第71号	嬉野市営公衆浴場条例の一部を改正する条例について	可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第76号	令和4年度 嬉野市一般会計補正予算(第7号)	可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第81号	嬉野市教育委員会委員の任命について	同意	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

人事

賛否表

陳情

陳情

令和5年度 理科教育設備整備費等
補助金予算計上についてのご願い

東京都千代田区神田
小川町

公益社団法人
日本理科教育振興協会
会長 大久保 昇

次年度看護学校運営費市町補助金要望について

佐賀県鹿島市大字高津原
鹿島藤津地区医師会立
看護高等専修学校
校長 太田 春彦

要介護1、2の人の生活援助等の介護保
険給付を市町村の総合事業に移行するこ
とについての意見書提出に関する要望書

佐賀県佐賀市駅前中央
佐賀県保険医協会内
公益社団法人
認知症の人と家族の会
佐賀県支部
代表 小池 美鈴



塩田町内の小学校プールの解体の計画は

諸井義人 議員

答 財政面も考え今後の課題



【諸井】 現在、塩田町内小学校のプールの水は溜めてい

【教育長】 久間小は漏水して

【諸井】 解体等について中期財政計画に入れる予定はあるか。

【教育長】 プールを造るときは補助金があるが、解体は

【行政経営部長】 計画としてあがってくれば、財政としても検討したい。

学力向上について

【諸井】 4月におこなわれた全国学力・学習状況調査の結果はどうだったのか。

【教育長】 嬉野市では小

中学校とも3教科で1教科が全国を下回っているが、2教科は上回っている。

【諸井】 佐賀県の学力テストの順位は、全国で下から4番目となっている。

【教育長】 公表すれば競争や序列化を招くことや指導力の点で勤務評定等にも関わる部分もあるの

【諸井】 学力は、学力テストの結果がすべてではなく、自ら学び判断して行動し、問題を解決する力を伸ばすことが目標である。

【教育長】 嬉野市では、家庭学習の時間をどのくらいか把握しているか。

【教育長】 嬉野市では、



▲検討が急がれる小学校プール

【市長】 孟母三遷という言葉があるように、孟子の母がいいところに落ち

着くまで何度も引越してを繰り返したという故事がある。充実した教育環境、自然環境、友だち環境で学校生活を送れるように積極的にPRしていきたい。今後、オンライン英会話を軌道に乗せた後は、理科離れに対応した教育改革を実施していく。

バス・タクシー券の毎年配布はできないか

芦塚典子 議員

答 今のままでいく



【芦塚】 運転免許自主返納時にタクシー券が配布されているが、毎年配布できないか。

【福祉課長】 タクシー券を8000円分補助している。県では、免許返納事業としてタクシー運賃を2割引する事業があるので現在のままでいく。

【芦塚】 運転免許を返納したら大変困るので、福岡県が70歳以上で2万円、岡山県笠岡市は75歳以上で500円券を非課税者に48枚、課税者に24枚など多くの市や県で毎年の配布がある。例えば3000円配布の場合は、予算はどれくらいになるか。

【福祉課長】 返納者が約100人でひと月30万円となる。

【芦塚】 バス・タクシー券の毎月の配布は検討できないか。

【市長】 県のタクシー2割引運賃制度を周知して、公共交通網など総合的に対応していく。

【芦塚】 「治水対策」は

新興住宅浸水地域の対策は

←



▲がん検診で使用される精密機器

川内 昨年の脳ドック健診の検査定数は100名だったが、現状をうかがう。

健康づくり課長 100名の申込者定数が、コロナ禍による受診控えもあり、なかなか定数が埋まらない現状なので、令和4年度は80名の定数でおこなう。今後も定数を調整しながら実施する。



人

人間ドック健診の補助は

川内聖一議員

答 各種健診でカバーしている

川内 令和2年度まで、人間ドック健診にも助成をおこなわれていたが、再度おこなう考えは。

健康づくり課長 現在、各会社で保険者の健康診断がおこなわれ、国民健康保険では、特定健診と各種がん検診をおこなっている。今後も人間ドック健診の代わりに活用していただき、幅広く周知

駅及び駅周辺 土地区画整理地について

川内 嬉野温泉駅で乗車券の購入が、現金でしか購入できないが。

市長 購入方法としてはJR九州のアプリから割安運賃で購入してもらいたい。駅にはIC型ではない改札が設置してある。顧客の利便性を考え早期に改善してもらおうと強く要望している。今月末にも自治体合同で要望をおこなう。

川内 現在、駅舎には基本的に公衆電話が設置されていないとかがった。

新幹線・まちづくり課長 観光交流施設や道の駅に、市での設置はできないか。

していききたい。

NTT等と協議をおこなったが、対応ができないと言われ、市でピンク電話の設置を協議している。

川内 駅周辺は、民間事業者で商業施設の整備をされるが、今後の計画は。

新幹線・まちづくり課長 開業したアップリフト（販売所）の道を隔てた医療センター側エリアに、飲食施設とレンタカーの施設が来春に開業、トリップベース（宿泊施設）が来年の夏にオープン予定とかがっている。

川内 駅周辺区画整理地の塩田川沿い緑地帯に、以前要望した桜の木の植樹はできないか。

新幹線・まちづくり課長 現在、実行に向けて事業を進めている。



どようになってくるか。

総務・防災課長 内水監視用の水位センサーを設置して避難指示等に活用する。

川内 浸水した地域への広報と対策はされたか。

総務・防災課長 浸水対策としてカメラを設置してデータをとっていく。

川内 新興住宅の浸水地区への水害対策は。

市長 避難情報の発信に努める。

川内 八幡川・入江川の掘削はいつできるのか。

市長 伝えている。

川内 武雄市は3市3町林野庁、国交省、県、

気象庁、農林水産省で水害対策を流域にすむ住民の皆様と考えながら進めるとシンポジウムを開催し説明している。浸水地区にその後出向かれたか。

市長 今年度はカメラを設置したところである。

川内 河道掘削等は県の計画に乗っているのか。

建設課長 今後県と必要かどうか協議していく。

子ども学校塾の再開を

川内 学校塾の再開を強く要望されているが。

教育課長 子ども学校塾の復活は考えていない。



▲配布されているタクシー券

今

寺バス停から一位原の歩道設置の進捗は

森田明彦 議員

答 計画図面の提示があつた



森田 通学や高齢の方の通行でも非常に危険であり、地域の長年の願いとして、これまでも要望してきたが進捗状況は。

建設課長 同区間の歩道設置については、先月末に佐賀国道事務所より計画図面の提示がなされ、今後、説明会を含め進めていきたい。

森田 進展している状況と理解した。今後、担当課のみならず市長から市国に要望願いたい。

市長 旧町時代から地元の念願であり、改めて上京した折に道路局幹部

等にも直接お伝えしたい。

新幹線開業後の取り組みについて

森田 近隣市町との連携については開業前から訴えてきたが現況は。

市長 高速鉄道網となつながらメリットを最大化するには広域連携が欠かせず開業前から取り組んできた。

また福岡、佐賀、長崎熊本11の観光協会が連携する環有明海観光連合を設立し、今後も連携を深めていく。



高 齢者の避難をどうする

古川英子 議員



答 自助努力で避難



古川 高齢者の一人暮らしの人数は何人か。

市長 1770人だが、住民登録上の統計であり、家族と一緒に生活されている世帯も含まれている。

古川 高齢者の一人暮らし、また75歳以上の高齢者の夫婦世帯も沢山おられると思う。このような方々の避難行動要支援者の個別計画書はあるのか。

またどのような方法で作成されているのか。

福祉課長 介護保険で要介護認定を受けている方などを居宅介護支援事業所などに業務委託している。

古川 75歳以上で要支援を受けていない高齢者の一人暮らしに対しての支援はないということか。

総務・防災課長 自助努力で自分が避難できる体制を確保していただくということをお願いするしかない。

市道の道路整備計画について



▲スムーズな避難のために

古川 嬉野環状線と嬉野環状2号線はつながる計画はあるのか。

新幹線・まちづくり課長 720メートルの区間においては未整備、未着工区間だが、事業化は未定となっている。

古川 井手川内（旧中学校下）の道路は整備されているが、交通量も多く、朝夕の離合時は歩道に乗り上げなければならぬ時もある。できるだけ早く着工してもらいたい。

新幹線・まちづくり課長 都市計画道路は全部で18路線である。現在12路線が完了となっているが

指摘の道路は未定となっている。

古川 下宿大通り線の今後の計画をうかがう。

新幹線・まちづくり課長 以前から県に県道として事業化できないか相談している。

古川 40年前からの計画だが、都市計画道路計画路線上に住宅を建てることも可能なの。

新幹線・まちづくり課長 都市計画道路計画路線上に住宅が建てられないことはない。計画路線が事業化された場合は計画に応じますという同意書が必要となる。

塩田川遊歩道のブラッシュアップについて

森田 シーボルトの湯から轟の滝までの遊歩道は、市民や観光客の散歩コースとして親しまれ利用されているが、一部、雑草や落ち葉が溝を塞いでいる。

また、河川沿いの壁面と遊歩道上に立派なレリーフの陶板が埋め込まれているが汚れて見えにくもつたない。

折角の今ある施設をブ

ラッシュアップし、嬉野温泉の魅力アップにつながる対策が必要ではないか。

観光商工課長 遊歩道については、市民の散策のみならず観光客の方にも嬉野の自然を感じていただけるスポットとなっている。

現状として年に数回の除草作業、河川管理者の佐賀県において河川の浚渫等を実施されているが、改めて管理方法を協議していきたい。



▲歩道設置の早期実現を

一般質問



諸上 待望の嬉野温泉駅が開業し、今後どのような観光施策を展開するのかをうかがう。

市長 西九州新幹線の開業で高速鉄道網とつながり、新たな客層の掘り起こしが期待できる。人材育成などのアプローチも深め、子育てを担う人たちの目線や地元商店街への聞き取りもおこない、戦略の策定をしている。

観光客数を誘致することだけが目的ではなく、来られたお客さんに市内で消費していただき、それが市民の暮らしの豊かさにつながるような観光施策としてまとめたい。

諸上 観光戦略作成の進捗状況は。
観光統括官 年度内の策定を目指し、現在ヒアリングや、具体的な中身についても準備している。

福祉と融合した観光施策の展開は

答 おもてなしの体制づくりに努めたい

諸上栄大議員

諸上 新たな観光施策の基盤づくりが求められている中で、2024年に国スポ・全障スポが開催され、全国から障がいを持たれた選手の方を始め様々な方が嬉野に來られる。高付加価値サービスとして、バリアフリーツアーセンターも取り込み、嬉野のポテンシャルをさらに発揮できるチャンスであると考えている。

そのような視点も踏まえ観光戦略を立ち上げていただき、最終的には福祉と観光を融合した観光施策、ぜひともそういう着眼点を持った観光施策の展開に取り組んでほしい。

市長 今策定中の観光戦略についても、佐賀嬉野バリアフリーツアーセンターの代表の方も入っていただいている。障がいを持たれた方々が困らないような動線づくりなどが、一からできる環境下にあるというメリットをいかしながら、本当に皆さんが心から満足していただけるような体制をつくっていきたく思っている。やはり嬉野市の発足以来の理念である「ひとにやさしいまちづくり」



▲ポテンシャルを活かした観光施策を

「ひとにやさしいまちづくり」そういった経験値も積みながら、おもてなし体制の構築に努めていきたい。

その他の質問
児童虐待及び、いじめ問題について。





インボイス対応と事業者への周知は

水山洋輔 議員



答 説明会を開催し周知対応に取り組む



▲インボイスの対応にむけて

水山 市として取引事業者に発行する請求書において、事業者が仕入れ税額控除を受けるためには、今後インボイスに対応する必要があるが本市の対応は。

市長 一般会計は事業者に不利益が生じないように既に対応済み。企業会計は対応が必要と認識している。また制度の周知等にもしっかりと対応していく。

水山 インボイスの周知や説明会の取り組みは、**観光商工課長** 武雄税務署に講師派遣を依頼し、1月に嬉野と塩田で各2回開催する計画である。

水山 インボイス対応のために必要なレジや会計ソフトなどハード・ソフト面で市独自の導入補助金の検討をうかがう。

観光商工課長 ハード・ソフト両面で対応は必要と思うが、中小企業庁が支援する分があるので現在のところ考えはない。

駅周辺及び駅前整備と運営について

水山 東口ロータリーと高架下の整備は、**新幹線・まちづくり課長** ロータリーは芝の整備と旧社会体育館から五葉松の移植を検討中。高架下は壁を作り倉庫として活用を考えている。

水山 道の駅の民間整備エリアについて、今後の整備計画をうかがう。

新幹線・まちづくり課長



▲一致団結した祝賀放水

山口 若年人口の減少、勤務形態の多様化、生活様式の変化など社会の変化を受けて、消防団の合理的改革の必要性を感じる。団員の負担に配慮し



た改革を進める考えはないか。

総務・防災課長 団の中で最適な方法、効果的な方法を検討しながら、組織力の維持、団員の負担といったものを勘案し、今後も運営していかねればいけないと感じている。

山口 消防活動、消防能力向上に向けて、操法

消防団の合理的改革を

山口卓也 議員

答 様々な協議の中でよりよい方向に

山口 体育館内の音響が聞こえにくいという声を聞くが、改善策を講じないのか。

文化・スポーツ振興課長 音が真つすく進むデモスピーカーでテストをお

嬉野市中央体育館「U-spo」の音響改善について

用していきたい。

寄与すると考えるので活用していきたい。

民間整備エリアについては民間事業者からの発表がないので市側では答えづらいが、レストランやレンタカーは来春オープン予定。その他事業計画にあるようなコンビニや調剤薬局も含めて検討を協議中と聞いている。



山口 新幹線駅開業で、おもてなし条例をどのように取り組まれたか。

新幹線・まちづくり課長
9月23日の開業時には、23日から25日まで3日間の開業イベントを開催し、その前には試運転と一番列車等のイベント、歓迎イベントなどもおこない、おもてなしの機運醸成を図ってきた。

全体的な景観に合うような建物を協議中のため発表できる段階になり次第公表していく。

水山 まるくアイズのお菓子やお茶の販売、焼き物の展示など情報発信について今後の取り組みは。

新幹線・まちづくり課長
現在、菓子組合のお菓子と茶商工業組合のお茶の販売、吉田焼窯元組合にて焼き物の展示をおこなっている。まるくアイズで市内産業の紹介をし、直接現地を訪れていく人流を創造していきたい。

おもてなし条例の活用は

山口虎太郎 議員

答

おもてなしハンドブックを全戸配布している

山口 駅周辺整備及び民間活用地の整備について

山口 駅周辺整備に関して、私の手元資料での積み上げだが、駅前の土木工事整備に1億7500万円、これは3年度決算の最終予算額として載っており、同じく駅前施設整備の最終予算額が6億7700万円、あと土地開発公社の部分の駅周辺の買い上げが18億1

400万円、合計で約26億6700万円位の駅前の予算を使っている。この支出についてうかがう。

新幹線・まちづくり課長

市民への周知は、今後も新幹線駅前関連で市報にもコーナーをつくりながらPR等に努めていく。

新幹線開業後について

山口 新幹線利用客へ

こなかったが思ったほどの効果はなかった。年明けには響きやすい音質そのものを自動でカットする機器のテストをおこなう予定である。いずれにしても効果的なものが何なのか現在、検証している状況である。



ポイントカード配布の総額2000万円の予算で、作成枚数が1万5000枚、今回発行が507枚というこの予算の効果は非常に疑問に思うが。

観光商工課長 本事業は

市内経済の活性化をすることが目的である。

今後は新幹線利用の宿泊と限定せずに配付対象者を広げることも検討する必要がある。ただし、交通手段を確認したい。

市道永尾線 通行止めに関して

山口 バスが利用できず高齢者のバス利用者が大変不便な生活を余儀なくされている。タクシーの代替による事業を実施

しているが、乗り継ぎの点などで利便性が良くないと考える。改善策は考えられないか。

農業について

山口 嬉野市の農業産出額は塩田・嬉野管内で約15億8600万円。市の目標設定をうかがう。

農業政策課長 現在設定していない。
茶業振興課長 令和6年度で7億9000万円と設定している。



▲ハンドブックの活用を

市

町村こども

計画の策定は

増田朝子議員

答 考えていきたい



増田 令和5年4月1日よりこども家庭庁設置法が施行される。これを受けての認識と本市としての取り組みの考えをうかがう。

市長 子どもを取り巻く課題が多岐にわたり、教育の部分を取り除いて、すべて子ども家庭庁が一元的に担当する。効果的なこども施策に取り組んでいきたい。

教育長 こどももなかなか社会へと変えていく司令塔とするために設置されたもの。関係機関と連携して小学校就学前支援に注意を注いでいきたい。

増田 こども基本法9条により「こども大綱」が策定される。「市町村こども計画」の策定は努力義務となっているが、策定の考えはあるか。

市長 個別に策定するか他市町の動向も見ながら研究をしていきたい。

増田 「第2期の嬉野市子ども・子育て支援計画」があるが、3期の計画書策定に向けて、その計画書に子ども基本法の内容を盛り込む考えはないか。

子育て未来課長 令和6年度3月に作成予定で、期間的に盛り込むことは



駅

から商店街まで

シャトルバスの運行を

大串友則議員

答 シャトルバス等は考えていない

大串 新幹線開業時に市内案内看板もない、タクシー乗り場もわからない、タクシーもない状況であった。観光客へのおもてなしが足りないのではないか。

建設部長 現在、案内看板はないが、整備を進めている。

大串 駅から商店街までの道案内はどうしているか。

建設部長 新幹線駅を利用して嬉野に來られた方については、「まるくアイズ」で観光案内をおこなっている。

移動手段は、公共のバス・タクシー、宿泊のお客様に関しては、旅館からの送迎が一番多い。
大串 商店街までの交通手段としてシャトルバスを走らせたりする計画はないか。

建設部長 バスが運休になることを避けるために、できるだけ公共交通を利用いただきたいので、今のところはシャトルバス等については考えてない。

ただし、新たな二次交通の一つとして自動運転の実証に向けて進めている。

大串 自動運転バスは市の直轄でおこなうのか。

新幹線・まちづくり課長 運営、運行に当たってのスキームづくりを本協議会の中で進めていく。

大串 観光交流施設「まるくアイズ」の周辺の整備はいつ完了するのか。
また、開業時に間に合



▲自動運転の実証に期待



わなかった理由は。

新幹線・まちづくり課長 現在、電気設備、植栽工事等を発注して工事をおこなっている。今年度中の完了予定である。

開業時のイベント時に関係者、出店者の駐車スペースとして使用し、開業後に工事をおこなう予定にしている。計画どおり進めており遅れていな

い。

大串 「手ぶら観光」や「レンタサイクル」は、今後どのように実施していくのか。

新幹線・まちづくり課長 現在、手法について運送事業者と協議をおこなっている。条例改正等が必要になるため、スキームづくりを協議している。



難しい。
増田 別の形でも「市町村子ども計画」の策定はできないか。

市長 それぞれの部署や部門分担をはっきり定め再編をしながら、今後計画の策定についても考えていきたい。

医療的ケア児について

増田 令和4年11月27日に実施予定だった医療的ケア児の避難訓練延期の理由をうかがう。

福祉課長 避難訓練に参加される医療的ケア児

の健康上の理由で延期した。

増田 今後の予定は。
福祉課長 今年度中に実施予定だが、本人の体調に合わせて暖かい時期に予定している。

増田 10月22日に武雄市で実施された医療的ケア児の避難訓練を見学された感想をうかがう。

福祉課長 災害時は想定外のが起こりうる。色々な想定をした訓練を継続的におこなっていき、関係機関で連携の必要性を感じた。



▲少子化にどう取り組むのか



新庁舎の建設は何処に

田中政司 議員



答 現庁舎北側にと考えている

田中 新庁舎建設に向け、庁舎検討委員会が立ち上がり協議されているが、提案された案では新庁舎の位置を現庁舎北側とある、その根拠は。

企画政策課長 その敷地が4面の道路に面しており、国道から来る場合は左折で入りやすい。公会堂側は周りが住宅地で、いろいろな影響がでることが考えられる。

田中 今回は、合併特例債を活用し、他の公共施設との複合的な施設ではなく、庁舎機能のみの建設計画であるが、今後集約する考えはあるのか。

企画政策課長 今回の素案には庁舎の複合化は入っていないが、コンパクトシティの考え方に基づき、公会堂跡地の活用もふまえ、今後検討されるものと考えている。

田中 市長の考えは。

市長 市の老朽施設の補修費も年々かささんでいる。今後どこまで補修を続けていくのか、損益分岐点を探るよう中期財政計画でも言っている。担当職員もそれぞれの

場で受け止めは違うと思うが、そのような認識でいると思う。

被り木伐採の対応に 森林環境譲与税の活用を

田中 交通の障害になる被り木伐採の対応は。

建設課長 公有地からの被り木は当然市でおこない、民地については所有者でおこなっていただくのが原則である。

農林整備課長 農道や指定農道などについても原則、所有者でおこなっていただく。現在、被り木伐採のための補助はな

いので地域など地元で施工する場合、機械リース代などの採択基準の見直しをおこないたい。

田中 その財源に森林環境譲与税を活用し、被り木の伐採をおこなうことはできないか。

建設部長 他の自治体では、事例があるようなので検討中である。

田中 トップとして譲与税の活用策を国へ要望をおこなうべきと考えるがいかがか。

市長 こういう課題があることを伝え、使いやすしい方を提案していきたい。



▲計画されている庁舎北側



公 共施設に平等に 生理用品の配置を

阿部愛子 議員

答 効果的な配布を検討しながら取り組む



阿部 6月の一般質問で、公共施設のトイレに生理用品を配置していると答弁であったが、現在の状況をうかがう。

子育て未来課長 子ども

もや子育て世帯の貧困対策の一環としてNPO法人や企業から寄附でいただいた生理用品を数量の範囲内で配置をしていたが、現在、在庫がなくなっている状況である。

阿部 先日、吉田公民館を確認したところ、生理用品は一つのみ残されていたが、近くには小・中学校もある。困ったときに使えるようにいつも準備しておくべきだと思うが。

市長 持ち帰り等々のことで在庫がなくなってしまうということ、提供の仕方を少し研究したい。

阿部 市長は女性が輝く嬉野と言われている。ジェンダー平等の原則からも、そして、観光地嬉野のためにも生理用品の配置も予算化していただきたい。

市長 公共施設には目



▲困っている方々のために

に見える形で配備をしていきたい。

現在、在庫がなくなっているが、「生理の貧困」という問題、女性活躍という観点からもしっかりとしていきたい。

立石児童公園について

阿部 立石公園の南側の出入口にロープが張られて、貼紙が設置してある。通行ができないようになってきているのはなぜか。

新幹線・まちづくり課長

市内の都市公園を中心に職員による月1回の巡回の点検と、遊具は年1

回の法定点検を行っている。巡回の点検の際に危険であると判断し、ロープと貼紙によって通行できない旨の注意喚起をおこなっている。

その代わりに出入口として、その横の部分についてフェンスを撤去して通行できるように形を取っている。

阿部 トイレが使用不可になっているのはなぜか。

新幹線・まちづくり課長

現在、便槽内の汲み取りができない状況である。次年度以降、公共下水道に接続することで水処理をはかっていきたい。

家

賃補助等も

考えるべきでは

梶原睦也 議員

答 いい方策を考えていきたい



梶原 賃貸住宅にお住いの人数並びに世帯数は、

建設課長 把握できていない。

梶原 市営住宅に空きが出た場合の募集希望者は、

建設部長 ホームページで募集をかけて3〜5件程度の希望者がある。

梶原 何回も抽選漏れになる方もいると思うが。

建設部長 外れれば落胆されて帰られる。

梶原 高齢世帯では、2階での生活が困難になった。子育て世帯では、子供の成長や家族が増えたために部屋が狭くなった。

たために部屋が狭くなった。

た。しかし、転居するにも経済的に厳しい。このような相談が増えている。

低廉な家賃の市営住宅の建設をすべきではないのか。

市長 市営住宅の老朽化も進んでおり、決断を迫られる時期だ。そういったなか民間物件の活用も視野に入れている。

梶原 早急な市営住宅の建設が無理であれば国の制度等を使い、民間賃貸住宅入居者に対する家賃補助等も考えるべきでは。

市長 問題意識は共有している。いい方策を考



事

故多発交差点に 信号機の設置を

宮崎良平 議員

答 設置が難しければ別の対策を打っていききたい



▲イメージハンプの積極的活用を

宮崎 事故多発地帯及びそのおそれのある交差点において、信号機設置の要望を市としておこなっているのか。また、設置条件等含め市の見解をうかがう。

機を設置に関して地区等から強い要望があり、鹿島警察署の調査を通じて、最終的には佐賀県の公安委員会宛てに要望書を提出することになる。ただ、実際に信号機を設置するには、5つの必要条件がある。この必要条件を基本的には、全部満たした上で、さらに択一

また、交差点近くまで建物があり見通しが悪い停止の表示が明確でないなどの問題があり、改善が必要だと思っている。

- ・ 駅周辺整備と交通アクセスについて
- ・ 駅周辺整備の進捗状況と今後の計画について
- ・ 自動運転車両の商店街までのルートについて
- ・ 駅から続く花みずき公園までの街路灯設置について等

条件というのがある。新たに設置する信号でこれに該当するのは、難しいというのが現状である。

勧告を促すこともできるし、効果的だという検証結果も示されている。このような対策も含め検証すべきと考えるがいかがか。



▲住みよい嬉野市をめざして

えていきたい。その点はしっかりと約束する。

犬・猫について

梶原 犬や猫による被害の相談件数は。

環境下水道課長 犬は今年5件で昨年は3件。猫が今年19件で昨年22件。

梶原 被害の本身は。

環境下水道課長 糞尿被害が大半である。

梶原 対策については。

環境下水道課長 超音波装置を市で6台、保健所で2台を貸し出している。

梶原 他人に迷惑をかけるような飼い方の指導

はしているのか。

環境下水道課長 苦情が来た場合は「犬猫を飼うときのルールとマナー」というチラシを飼い主に渡し、説明もしている。

梶原 本市の猫の去勢・避妊手術補助制度を充実する考えはないか。

市長 補助の充実も含め考える。

梶原 死亡した犬や猫・ペットの処理はどうするのか。

環境下水道課長 飼い主が直接、佐賀西部クリーンセンターへ搬入してもらう。

委員会レポート

防災について

総務企画常任委員会

調査の目的

嬉野市においても令和2年令和3年と豪雨により被災している状況を鑑みながら、今後の防災・減災及び、被災した際の生活再建も含め、国土交通省・内閣府及び熱海市を訪問し調査研究をおこなった。

委員会の意見

国土交通省・内閣府

近年、多くみられる大規模災害の影響は地域社会において多岐に渡っており、国においてもこれまでの災害の教訓を活かしながら、災害対策基本法は毎年改定がおこなわれ、様々な災害の形態に対応できるような対策が講じられている。

特に防災・減災の補助事業において新たに整備された事業等も含まれることから、市としても今後の国の動きを敏感に察知し、防災・減災に向け推進していかうかに努めていくべきだと感じた。

熱海市

熱海市の土石流による災害

においては、災害がおきてからの対応として、災害状況の把握、行方不明者の氏名公表、避難所の設置、国県への要請など冷静な判断のもとスムーズにおこなわれたことに感心させられた。と同時に我々と共通の課題として、多少強引なくらいの避難指示の発令の重要性とともに住民の避難意識を高める日ごろからの取り組みの推進が重要であると感じた。

また、市民への土砂災害警戒区域等の周知徹底とハード面の治山、砂防施設の計画的な整備等も重要な課題であり、市民の命を守るため、今後の政策提言等につなげていかなければならない。



▲国の施策を地方へ

給食センター及びICT教育について

文教福祉常任委員会

調査の目的

嬉野市においては、毎日児童・生徒のために安心安全な学校給食が提供されている。学校給食センターにおいての作業手順や学校給食調理員等の労働環境について調査研究をおこなった。

また、学校現場において子どもたちの給食の様子を観察した。

更にGIGAスクール構想で整備されたタブレット端末の活用状況の調査研究をおこなった。

委員会の意見

今回訪問した嬉野給食センターでは、児童生徒への安心安全で美味しい給食を提供するために、毎日頑張っておられる姿を拝見し、委員会全員が感動を覚えた。

そのような中、最近の食材費の高騰や燃料費の高騰が保護者負担増につながらないか心配であり、何らかの形で財政支援も必要と思われる。

最近では、施設や設備が20年経過しているので、多額の修理費がかかるようになってきている。また労働環境も厳しく空調設備等の設置も必要と思われる。

次に視察した轟小学校では、私たちが想像していた以上にICT教育について積極的に活用されていて、子どもたちも楽しくタブレット端末の操作をおこなっていた。校長をはじめとする教職員の研修の成果及び授業展開で、子どもたち一人ひとりに対応した指導が行き届いていると感じた。今後は、普通教室以外での活用も視野に入れての整備が必要である。

また、オンラインでの英会話も始まるので、嬉野市からグローバルに活躍できる人材が育つことに期待したい。



▲将来の嬉野をになう子どもたち

新幹線駅の開業に伴う街づくりについて

産業建設常任委員会

調査の目的

九州新幹線西九州ルートの一部開業で、当市においては念願の嬉野温泉駅が開業した。

今後は新幹線を活用して、これまで以上に観光客の誘致に取り組み、観光産業振興の発展につなげなければと考える。

委員会の意見

筑後市では、新幹線駅の開業を契機に観光に対し取り組まれ、開業後に県や市の観光施設が開業

し、近隣市町との観光の連携をはかり、様々なイベントをおこなわれていた。

なかでも大きな功績として近隣の5市2町での取り組みで「筑後七国」を結成し、七国で福岡ソフトバンクのファームの本拠地となる、ホークスベースボールパーク筑後を誘致されている。

当市においても現在、広域組合で多種事業を連携しておこなっている。構成市町と連携をはかり、観光面でも事業に取り組みと考える。

筑後市も広域で取り組みには、色々大変だったと話されたが、新幹線駅を有する市や町が事務事業を率先しておこない、他の自治体を引っ張ってあげば賛同してくれると

うかがい、当市としても見習うべきと考える。

最後に筑後市では、県が川の駅の整備をされていた。当市も民間から轟の駅構想を活かしての川の駅構想を陳情された経緯があるが、当市だけで考えず国や県にも川の駅構想を申し出て、新しい観光資源づくりも、今後は検討すべきと考える。



▲新幹線を活かした観光施策にむけて

議会運営に関する事項及び議長との諮問に関する事項について

議会運営委員会

調査の目的

令和4年2月に嬉野市議会議員の改選があり、新しい議員構成となり改めて議員の政治倫理の確立が求められている現状である。

議員の政治倫理に関する条例を詳しく制定している広島県廿日市市及び山口県下関市の調査をおこなった。

委員会の意見

嬉野市においては平成21年6月、市長、副市長及び教育長並びに市議会議員を対象として嬉野市政治倫理条例が制定された。

廿日市市においては平成23年9月に廿日市市議

会議員政治倫理条例が、また、下関市においては平成24年3月に下関市議員政治倫理条例が制定されている。

条例内容の概要については、①政治倫理基準②請負基準③資産公開④住民の調査請求⑤政治倫理審査会⑥問責制度の6項目のうち全部または一部規定されている。

政治倫理基準については、一定の行為を禁止し、その遵守を求めるものである。請負等の制限については、地方自治法において請負をすることを禁止する旨を明文している。

下関市並びに廿日市市は、2親等以内の親族もしくは同居の親族を規定し、契約締結辞退を求めている。

嬉野市において市工

等に関する遵守事項については、2親等を外した経緯があり、再度検討すべき事項と考える。

本議会においても、本市政治倫理条例において、再考並びに精査し議員として自らを律するため、今後の重要な審議事項になると考えられる。今回の調査で貴重な教示を得た。



▲円滑な議会運営のために

議会の活性化を図るための調査研究

議会活性化特別委員会

調査の目的

将来の議員のなり手不足を解消し、多様な人材による議会を実現するために本市の議員報酬のあり方を研究する必要があると考えた。

そこで、「原価方式」による議員報酬改定に取り組まれた実績のある京都府精華町を視察することにした。

また、「オンライン議会報告会」や「議会と語るう会」などの議会改革に積極的に取り組んでいる兵庫県西脇市を視察した。

委員会の意見

京都府精華町

精華町議会においては、担い手確保の妨げとなっている条件改善をはかられた一つとして、議員報酬の見直しがある。

住民に理解してもらうことが一番の課題だったため、議員報酬の比較対象を「町長」（給与額）とし、議員の活動を数値化された。このように、報酬の見直しの条件方法の検証や住民とともに学ぶ講演会を開催されたこととは、一番大事なことで大きな成果である。

議員報酬の適正化をはかることは、持続的な地域民主主義として考える必要があるため、今後とも議論を深めていきたい。

兵庫県西脇市

議会報告会においては、全自治会で実施され、議



▲開かれた議会を目指して

員一人ひとりの役割がはっきりしている。議員研修の充実など、多くの議会機能強化をされているが、議長の強いリーダーシップを感じた。

当市議会においても、「開かれた議会」を目指すためには、市民が参加しやすいような場の設定をこれまで以上に工夫を凝らし検討していきたい。

議会だよりの編集作業について

議会広報編集特別委員会

調査の目的

議会の内容を市民に分かりやすく伝え、幅広い年代の方々に手に取っていただき、読んでもらえるような内容やレイアウトの作り方を常日頃模索している。議会だよりコンクール等で入賞された経緯のある、和歌山県かつらぎ町と大阪府八尾市議会にて調査研究をおこなった。

委員会の意見

かつらぎ町議会では、まず、ラフレイアウト（レイアウトの骨格）をもとに、レイアウトをしっかり決め、見出しやリード記事、議案の内容

を入れ込んでいき、立体的な紙面を作る方法で編集がおこなわれていた。

また、住民参加の紙面づくりとして、議員自らが取材に赴き、住民の声や各種団体・個人の活動内容を積極的に紹介するなどの取り組みは、私たち議会広報編集特別委員会にとって、大変参考になった。

八尾市議会では、若い年代の方に対して、議会をもっと知ってもらう組として、高校や大学との連携による紙面づくりがおこなわれており「議会だより」を議会に対する興味・関心を持っていただくための入り口として活用されている事に非常に興味深いものがあった。



▲より良い議会だよりの編集にむけて

「議会だより」をたくさんの人に手に取っていただき、読んでいただくことが、少しでも議会を知っていただくきっかけとなる。「議会だより」は単なる広報誌ではなく、市民と議会を結びつけるパイプ役として重要な役割を持っていることを委員会として再認識することができた。

市庁舎のあり方に関する調査研究

市庁舎検討特別委員会

調査の目的

嬉野市新庁舎建設にあたり、議会のなすべき役割と庁舎機能について参考とすべく、2020年に新庁舎が開庁した福岡県宮若市役所の現地調査をおこなった。

して活用されていた。

次に防災拠点となる庁舎として、一般建築物の1.5倍の非常に高い耐震性があり、非常用発電機(72時間連続運転可能)、災害対策用ガスコック、緊急汚水貯水槽などが設置されている。災害対策室には大型モニターを設置し、防災拠点としての機能を果たしている。

最後に地域木材を活用した庁舎として、伐期を迎えた市有林(ヒノキ)を壁や天井などの内装材にふんだんに活用し、木材ならではの優しい空間になっていた。

建設費用は、当初予算額が約36億1000万円に対し、執行額が約34億7000万円と約1億4000万円もの削減がな

されていた。

当市の新市庁舎建設に当たっては、今後も執行部とさらなる協議を重ね、災害対応の拠点、全ての市民が気軽に安心して利用できる庁舎であるとともにできる限りのコスト削減を求め、市庁舎検討特別委員会としての役割を果たさなければならぬ。

委員会の意見

宮若市役所の庁舎の特徴は誰もが使いやすい庁舎として、市民利用の多い窓口を1階に集約し、わかりやすいサインや段差のないフロアなど誰もが利用しやすいユニバーサルデザインを取り入れており、デジタルサイネージや屋外LEDビジョンが情報発信のツールと



▲これからの庁舎建設にむけて

お詫びとお知らせ

令和5年10月26日発行の議会だより67号P.21
 一般質問の記事内容において、**財政課長**と表記すべきところが、**財務課長**と表記しておりましたので訂正いたします。
 重ねてのお詫びと訂正をさせていただきます。

議員とかたろう会を開催
 10月25日に嬉野中央公民館及び、嬉野市民センターの2カ所において、議員とかたろう会を開催いたしました。現在、いただきました意見の取りまとめをおこなない、執行部へ回答を求めています。次号において、詳細な記事を掲載予定です。

閉会中の委員会審査(調査)付託案件

令和4年第4回定例会

付託事件名	付託委員会名	付託期間
SAGA2024国スポ・全障スポについて	総務企画常任委員会	次期定例会まで
小中学校の学力向上対策及び伝統的建造物群保存地区について	文教福祉常任委員会	次期定例会まで
観光まちづくりについて	産業建設常任委員会	次期定例会まで
各期の議会の会期日程等の議会運営に関する事項及び議長の諮問に関する事項	議会運営委員会	次期定例会まで
議会の活性化を図るための調査研究	議会活性化特別委員会	調査終了まで
議会広報の編集発行に係る調査研究	議会広報編集特別委員会	調査終了まで
市庁舎のあり方に関する調査研究	市庁舎検討特別委員会	調査終了まで

令和5年第1回定例会 会期日程(案)

17日	16日	15日	14日	13日	12日	11日	10日	9日	8日	7日	6日	5日	4日	3日	2日	3月1日	2月28日
金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火
討論採決・閉会	一般質問	一般質問	一般質問	議案質疑	休会	休会	議案質疑	議案質疑	議案質疑	休会	休会	休会	休会	常任委員会	常任委員会	常任委員会	開会

地域のイベントで大活躍 嬉昇伝心太鼓 嬉野高校和太鼓部

ときの人



嬉野温泉駅の開業イベントに花を添えていただいた高校生。今回のときの人、嬉野高校和太鼓部の嬉昇伝心太鼓をご紹介します。

問 9月23日の嬉野温泉駅開業イベントでは素晴らしい演奏でしたが出演した感想は。

杉原ひかりさん お客さんと距離も近かったし、目の前に偉い方々がいらつしゃったので、今まで一番緊張しました。

顧問 大一番のイベントであり、ミスが無いように願っていました。

問 和太鼓部に入部したきっかけは。

杉原ひかりさん 中学の時、吹奏楽部でパーカッションを担当していた経験があり、和太鼓に興味があったから。

林 未来さん 地域の浮立にも参加した経験があり、興味があったから。

大和 恋さん 先輩方から勧誘されたので。

栗田 達弥君 自分も勧誘されたので。

山下 藍さん 部活体験の時、非常にかっこよかったので自分もやりたかったから。

問 普段、どれくらい練習していますか。

キャプテン 平日は、月曜から金曜日の午後4時半から午後6時まで。土日はイベントが入ることが多いです。

問 和太鼓部の特徴は。
キャプテン 良い意味でも、悪い意味でも仲が良すぎる場所です。

顧問 6人いた3年生が11月に卒部して、大きく様変わりしました。

問 演奏で一番難しいところは。

キャプテン 太鼓の音を全員合わせることに、叩き方に強弱をつけたり、気持ちを入れて叩くことが一番難しいです。

問 市民の方に対して一言。

キャプテン 出演するイベントの時はたくさんの方に来てもらい、聞いて貰いたいので、是非来ていただきたいです。

問 行政に対して、何かお願い事などありますか。

キャプテン 夏祭りが一番の楽しみだったが、中止になり残念でした。今年は、夏祭りの開催も含め、いろいろなイベントが開催され、たくさんのお客さんに来ていただき、嬉野を盛り上げてほしいです。

問 先輩たちから学んだことや後輩たちに伝えたいことは。

キャプテン 先輩たちの演奏には迫力があり、また、頼りがいがありました。

私たちも後輩たちに対して細やかな配慮をおこない、頼りがいのある先輩として頑張っていきたいです。

取材を終えて 寒い中の武道場、裸足で真剣かつ懸命に太鼓を叩く迫力ある姿に、人知れぬ感動を覚えた。

取材時には、明るい笑顔とともに、元気な声で受け答えしてくれた部員の皆さんの、今後ますますの活躍と人生での飛躍に大いに期待をしたい。



コラム

今年、一月に市長及び市議の改選があり、議会も新しい議員構成で始まった。三期目の付託を受けて、これまで以上の重責を覚えた▼二月に、ロシアがウクライナへ武力侵攻を行い世界中が嘩然とした。時代に反し戦争を始めたロシアには強い怒りを感じたと共に、他国の問題と捉えず防衛に関しては今以上に考えなければならぬ▼九月には、百年の思いの西九州新幹線が一部開業し、コロナ禍で低迷した街に、数年振りに歓声の渦が巻き、歴史に残る年となった。今後の未整備区間に関しては進展がない。国も県も先行きが見えぬままでの知事の改選となったが、選挙の争点にもならなかったことには驚いた▼西九州新幹線の課題に対しては、幅広い協議を行って、一日も早いフル規格での運営を行って貰いたい。

(聖二)

議会広報編集特別委員会

委員長	諸上栄大
副委員長	山口虎太郎
委員	田中政司
	川内聖一
	諸井義人
	阿部愛子
	大串友則